

【地域の概要】

- 梅原地区は山口市の南西部に位置し、県道を挟み南北に比較的平坦な水田が広がっている。
- 水田面積は108haで、担い手への集積面積は39haとなっている。（集積率36.1%）
- 地域で「梅原地域ふる里活性化協議会」を組織し、積極的に農地維持活動に取り組んでいる。

①取組開始前の状況や課題

- 農業委員、農地利用最適化推進委員の最適化活動や地域組織による農地の維持活動が積極的に行われており、遊休農地は1haほどと少ないが、不在地主が所有する農地が遊休化し、課題となっている。



②取組内容

- 不在地主が所有する農地で雑木が繁茂し、長年遊休化していた農地について、地域の農業委員、農地利用最適化推進委員が地区外に居住する所有者宅へ電話や訪問活動を行った結果、所有者により雑木の除去、除草が行われ、10aの遊休農地の解消に至った。
- 解消した農地は委員の働きかけにより、令和4年度に担い手に貸付けされ、令和5年度より耕作が再開される見通しとなった。

③今後の展開と方向性

- 遊休農地の更なる解消と新たに発生さないよう、地域、委員、事務局等が連携し、より一層の農地利用の最適化を推進する。
- 当地区は複数の担い手が耕作しており、今後は目標地図を作成し、農地の集積・集約化を進めたい。

